



2025年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年4月25日

上場会社名 アステラス製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4503 URL https://www.astellas.com/jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岡村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) チーフコミュニケーションズ & IRオフィサー (氏名) 池田 博光 (TEL) 03(3244)3201

定時株主総会開催予定日 2025年6月19日

配当支払開始予定日 2025年6月3日

有価証券報告書提出予定日 2025年6月16日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	1,912,323	19.2	41,039	60.8	31,237	25.1	50,747	197.7	50,747	197.7	48,888	△76.2
2024年3月期	1,603,672	5.6	25,518	△80.8	24,969	△81.1	17,045	△82.7	17,045	△82.7	205,583	0.1
	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後1株当たり 当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率			
	円 銭		円 銭		%		%		%		%	
2025年3月期	28.35		28.24		3.3		0.9				2.1	
2024年3月期	9.51		9.47		1.1		0.8				1.6	

(参考) 持分法による投資損益 2025年3月期 △259百万円 2024年3月期 △3,165百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	3,339,544	1,513,255	1,513,255	45.3	845.25
2024年3月期	3,569,603	1,595,988	1,595,988	44.7	890.07

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	194,512	△89,419	△261,367	188,372
2024年3月期	172,475	△845,802	614,060	335,687

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00	126,630	736.4	8.1
2025年3月期	—	37.00	—	37.00	74.00	133,876	261.1	8.5
2026年3月期(予想)	—	39.00	—	39.00	78.00		107.4	

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,930,000	0.9	160,000	289.9	150,000	380.2	130,000	156.2	130,000	156.2	72.61

コアベースでの連結業績予想は次の通りです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,930,000	0.9	410,000	4.5	304,000	2.8	169.80

(注)2025年3月期からコアベースの業績の定義を変更しています。詳細につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	1,809,663,075株	2024年3月期	1,809,663,075株
② 期末自己株式数	2025年3月期	19,353,121株	2024年3月期	16,561,677株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	1,790,205,886株	2024年3月期	1,793,276,623株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績		(%表示は対前期増減率)							
		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期		789,619	14.7	267,305	37.8	431,119	15.5	319,719	9.4
2024年3月期		688,435	12.2	193,984	48.5	373,257	10.4	292,161	△7.0
		1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
		円 銭		円 銭					
2025年3月期		178.59		178.55					
2024年3月期		162.92		162.87					

(2) 個別財政状態

		総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
		百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期		2,559,271	1,366,867	53.4	763.31
2024年3月期		2,458,895	1,183,824	48.1	660.00

(参考) 自己資本 2025年3月期 1,366,569百万円 2024年3月期 1,183,449百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算短信の開示とあわせて決算補足資料及び決算説明会資料を開示しています。

また、2025年4月25日(金)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けに説明会(ライブ動画配信)を開催する予定です。この説明会の内容については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
(4) キャピタルアロケーションに関する基本方針及び当期・次期の配当	11
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	12
3. 連結財務諸表及び主な注記	13
(1) 連結純損益計算書	13
(2) 連結包括利益計算書	14
(3) 連結財政状態計算書	15
(4) 連結持分変動計算書	17
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	19
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	20
(継続企業の前提に関する注記)	20
(セグメント情報)	22
(1株当たり当期利益)	23
(重要な後発事象)	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の連結業績の概況

<連結業績（コアベース^(注)）>

当期（2024年4月1日から2025年3月31日）の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。
売上収益、コア営業利益、コア当期利益はいずれも増加しました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前期 (2024年3月期)	当期 (2025年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,603,672	1,912,323	+308,652 (+19.2%)
売上原価	292,485	349,206	+56,721 (+19.4%)
販売費及び 一般管理費	740,110	843,032	+102,922 (+13.9%)
研究開発費	294,187	327,651	+33,464 (+11.4%)
コア営業利益	276,890	392,435	+115,545 (+41.7%)
コア当期利益	223,196	295,682	+72,486 (+32.5%)
基本的1株当たり コア当期利益（円）	124.46	165.17	+40.70 (+32.7%)

（注）第1四半期からコアベースの業績の定義を変更し、フルベースの業績から新たに無形資産償却費、無形資産譲渡益、持分法による投資損益を、当社が定める特定の重要な調整項目として除外しています。新定義によるコアベースの業績は、当社の収益力を示す指標として、フルベースの業績から当社が定めた特定の重要な調整項目を除外したものです。調整項目には、無形資産償却費、無形資産譲渡益、持分法による投資損益、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、当社が除外すべきと判断する項目が含まれます。前期の金額は当該変更を反映しています。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

- ・ 主要製品の前立腺がん治療剤XTANDI、尿路上皮がん治療剤PADCEV、急性骨髄性白血病治療剤XOSPATAの売上が拡大しました。また、前期に発売となった閉経に伴う血管運動神経症状治療剤VEOZAHと地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性治療剤IZERVAY、当期に発売となった胃腺がん及び食道胃接合部腺がん治療剤VYLOYも売上収益の拡大に貢献しました。
- ・ これらによって、米国における過活動膀胱治療剤ミラベトリックの後発品の影響による売上の減少を補いました。

以上の結果、売上収益は1兆9,123億円（前期比19.2%増）となりました。

【コア営業利益／コア当期利益】

- ・ 売上総利益は、1兆5,631億円（同19.2%増）となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、8,430億円（同13.9%増）となりました。SMT*によるコスト最適化を推進するなかで、グローバル組織改革（同約150億円減）や成熟製品における費用の見直し（同約100億円減）、デジタル及びAI活用による全社的な業務効率化（同約60億円減）などの削減効果があった一方で、為替の影響（同349億円増）や重点戦略製品**の販促費用の増加により、総額として増加しました。なお、XTANDIの米国での共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、5,905億円（同8.3%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、3,277億円（同11.4%増）となりました。為替の影響（同111億円増）に加え、Primary Focus（標的タンパク質分解誘導、がん免疫など）や重点戦略製品のライフサイクルマネジメント、研究開発の機能強化への投資を拡充（同約150億円増）したことなどにより、総額として増加しました。また、第1四半期に発生した一過性の共同開発費用の支払いも増加要因となりました。

以上の結果、コア営業利益は3,924億円（同41.7%増）、コア当期利益は2,957億円（同32.5%増）となりました。

* SMT : Sustainable Margin Transformation

** 重点戦略製品 : PADCEV、IZERVAY、VEOZAH、VYLOY、XOSPATA

【為替の業績への影響】

当期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては681億円の増加、コア営業利益においては151億円の増加の影響がありました。

期中平均レート	前期	当期	変動
米ドル/円	145	152	8円安
ユーロ/円	157	164	7円安

<連結業績（フルベース）>

当期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。
営業利益及び当期利益はいずれも増加しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等に加えて、第1四半期から新たにコアベースの業績から除外される「無形資産償却費」や「無形資産譲渡益」、「持分法による投資損益」も含まれます。

当期における「無形資産償却費」は1,368億円（前期：988億円）、「その他の収益」は203億円（同：87億円）、「その他の費用」は2,358億円（同：1,678億円）となりました。

「その他の費用」として、第3四半期において、主に米国外IZERVAY（1,151億円）、AT466（518億円）、iota（80億円）に関する無形資産の減損損失を計上したことに加え、主に外貨建貨幣性資産の評価において為替レートの変動に伴い発生した為替差損（186億円）やリストラクチャリング費用（155億円）を計上しました。

「法人所得税費用」には、Ganymed Pharmaceuticals GmbHの清算を意思決定したことによる従前は未認識であった同社に対する投資に係る一時差異等から生じた税務便益（206億円）が含まれています。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前期 (2024年3月期)	当期 (2025年3月期)	増減額 (増減率)
売 上 収 益	1,603,672	1,912,323	+308,652 (+19.2%)
営 業 利 益	25,518	41,039	+15,521 (+60.8%)
税 引 前 利 益	24,969	31,237	+6,267 (+25.1%)
当 期 利 益	17,045	50,747	+33,702 (+197.7%)
基本的1株当たり 当期利益（円）	9.51	28.35	+18.84 (+198.2%)
包 括 利 益	205,583	48,888	△156,695 (△76.2%)

2025年1月24日に公表したフルベースの通期連結業績予想との差異は下表のとおりです。

「その他の収益」として、条件付対価に係る公正価値変動額（167億円）を計上したことなどに伴い、フルベースの各段階利益は最新の予想を上回りました。

【連結実績（フルベース）と最新予想の差異】

（単位：百万円）

	当期実績 (2025年3月期)	最新予想 (2025年3月期)	差異
営 業 利 益	41,039	11,000	+30,039 (+273.1%)
税 引 前 利 益	31,237	1,000	+30,237 (—)
当 期 利 益	50,747	14,000	+36,747 (+262.5%)
基本的1株当たり 当期利益（円）	28.35	7.82	+20.53 (+262.5%)

【主要製品の売上】

（単位：億円）

	前期 (2024年3月期)	当期 (2025年3月期)	増減率
XTANDI	7,505	9,123	+21.6%
PADCEV	854	1,641	+92.2%
IZERVAY	121	583	+380.6%
VEOZAH* ¹	73	338	+363.6%
VYLOY	—	122	—
XOSPATA	551	680	+23.4%
ベタニス／ミラベトリック ／ベットミガ	1,981	1,700	△14.2%
プログラフ* ²	2,031	2,010	△1.0%

<XTANDI>

- ・ 全ての地域で売上が拡大し、グローバル売上は大きく拡大しました。

<PADCEV>

- ・ 全ての地域で売上が拡大し、グローバル売上は大きく拡大しました。
- ・ 1L mUC（転移性尿路上皮がん患者を対象とした一次治療）の承認国が拡大し、各国での市場浸透が売上伸長に貢献しました。

<IZERVAY>

- ・ 発売している米国において、売上は着実に拡大しました。

<VEOZAH>

- ・ 発売国の拡大も堅調に推移し、グローバル売上は着実に拡大しました。

<VYLOY>

- ・ グローバル全体で期待以上に売上が拡大しました。
- ・ 想定を上回るClaudin 18.2検査の普及率が、期待以上の売上伸長に貢献しました。

<XOSPATA>

- ・ グローバル売上は着実に拡大しました。

<ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ>

- ・ 米国における後発品参入の影響で、グローバル売上は減少しました。

<プログラフ>

- ・ グローバル売上は前期と比べ同水準でした。

* 1 VEOZAH：米国以外ではVEOZAの製品名で承認取得

* 2 プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。

日本は減少した一方で、その他の地域はいずれも増加しました。

(単位：億円)

	前期 (2024年3月期)	当期 (2025年3月期)	増減率
日本	2,701	2,670	△1.2%
米国	6,631	8,664	+30.7%
エスタブリッシュド マーケット* ¹	4,156	4,854	+16.8%
チャイナ* ²	706	783	+10.9%
インターナショナル マーケット* ³	1,770	2,035	+15.0%

(注) 第1四半期から、グレーターチャイナの名称をチャイナに変更しています。

加えて、台湾のコマーシャル区分をチャイナからインターナショナルマーケットに変更し、前期の金額は当該変更を反映しています。

* 1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ 等

* 2 チャイナ：中国、香港

* 3 インターナショナルマーケット：中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、ロシア、韓国、台湾、オーストラリア、輸出売上 等

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、資本及び負債の概況

当期末（2025年3月31日時点）の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下のとおりです。

【資産】

総資産は3兆3,395億円（前期末比2,301億円減）となりました。

＜非流動資産＞当期末：2兆1,382億円（同2,367億円減）

- ・有形固定資産は、3,289億円（同352億円増）となりました。
- ・のれんは4,152億円（同35億円減）、無形資産は1兆1,237億円（同3,301億円減）となりました。

＜流動資産＞当期末：1兆2,013億円（同66億円増）

- ・現金及び現金同等物は1,884億円（同1,473億円減）となりました。

【資本】

資本合計は、1兆5,133億円（同827億円減）となり、親会社所有者帰属持分比率は45.3%となりました。

- ・当期利益507億円を計上した一方で、剰余金の配当1,290億円を実施しました。

【負債】

負債合計は、1兆8,263億円（同1,473億円減）となりました。

＜非流動負債＞当期末：7,647億円（同768億円増）

- ・社債及び借入金は5,649億円（同1,172億円増）となりました。そのうち、社債は3,200億円（同700億円増）、長期借入金は2,449億円（同472億円増）となりました。

＜流動負債＞当期末：1兆616億円（同2,241億円減）

- ・社債及び借入金は2,665億円（同2,057億円減）となりました。そのうち、短期借入金は200億円（同1,154億円減）、コマーシャル・ペーパーは1,649億円（同1,201億円減）、1年以内償還予定の社債は300億円（同300億円増）、1年以内返済予定の長期借入金は517億円（同2億円減）となりました。

② キャッシュ・フローの概況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

- 当期の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,945億円（前期比220億円増）となりました。
- ・ 法人所得税の支払額は855億円（同474億円増）となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△894億円（同7,564億円支出減）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△2,614億円（前期は6,141億円の収入）となりました。

- ・ 配当金の支払額は1,290億円（同123億円増）となりました。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、1,884億円（前期末比1,473億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、次期の連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。通期連結業績予想は以下のとおりです。

[通期連結業績予想（コアベース）]

(単位：百万円)

	当期実績 (2025年3月期)	次期予想 (2026年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,912,323	1,930,000	+17,677 (+0.9%)
販売費及び一般管理費	843,032	805,000	△38,032 (△4.5%)
研究開発費	327,651	342,000	+14,349 (+4.4%)
コア営業利益	392,435	410,000	+17,565 (+4.5%)
コア当期利益	295,682	304,000	+8,318 (+2.8%)
基本的1株当たり コア当期利益(円)	165.17	169.80	+4.63 (+2.8%)

(注) 基本的1株当たりコア当期利益の予想は、2025年3月末発行済株式数(自己株式を除く)により算定しています。

[通期の想定為替レート]

2026年3月期(想定)：140円/米ドル、160円/ユーロ

2025年3月期(実績)：152円/米ドル、164円/ユーロ

売上収益、コア営業利益及びコア当期利益はいずれも増加を予想しています。

次期の為替レートは、当期実績に比ベドル、ユーロともに円高になることを想定していることから、当期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては1,057億円の減少、コア営業利益においては250億円の減少の影響を見込んでいます。

【売上収益】

- IZERVAY、PADCEV、VYLOYを中心に重点戦略製品*の売上が大きく拡大する見通しです。これらがミラベグロンの売上減少や為替の影響を吸収し、売上収益は増加する見込みです。

以上の結果、売上収益は1兆9,300億円(当期比0.9%増)を予想しています。

* 重点戦略製品：PADCEV、IZERVAY、VEOZAH、VYLOY、XOSPATA

【コア営業利益/コア当期利益】

- 販売費及び一般管理費については、インフレに伴う費用増加を見込む一方で、SMT**を通じたコスト最適化の継続による費用削減効果により、8,050億円(同4.5%減)を予想しています。
- 研究開発費は、重点戦略製品のライフサイクルマネジメントやPrimary Focusへの投資が引き続き拡大することから、3,420億円(同4.4%増)を予想しています。

以上の結果、コア営業利益は4,100億円(同4.5%増)を予想しています。また、コア当期利益は

3,040億円（同2.8%増）、基本的1株当たりコア当期利益は169.80円（同2.8%増）を予想しています。

※※ SMT : Sustainable Margin Transformation

【主要製品の売上】

（単位：億円）

	当期実績 (2025年3月期)	次期予想 (2026年3月期)	増減率
XTANDI	9,123	8,680	△4.9%
PADCEV	1,641	2,000	+21.9%
IZERVAY	583	1,050	+80.1%
VEOZAH	338	500	+47.9%
VYLOY	122	400	+227.9%
XOSPATA	680	750	+10.3%

通期連結業績予想（フルベース）は以下のとおりです。

【通期連結業績予想（フルベース）】

（単位：百万円）

	当期実績 (2025年3月期)	次期予想 (2026年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,912,323	1,930,000	+17,677 (+0.9%)
営業利益	41,039	160,000	+118,961 (+289.9%)
税引前利益	31,237	150,000	+118,763 (+380.2%)
当期利益	50,747	130,000	+79,253 (+156.2%)
基本的1株当たり 当期利益（円）	28.35	72.61	+44.26 (+156.1%)

（注）基本的1株当たり当期利益の予想は、2025年3月末発行済株式数（自己株式を除く）により算定しています。

【通期の想定為替レート】

2026年3月期（想定）：140円／米ドル、160円／ユーロ

2025年3月期（実績）：152円／米ドル、164円／ユーロ

当期における営業利益410億円には、コア営業利益で除外された3,514億円の費用（純額）が含まれています。

次期においては、営業利益、税引前利益及び当期利益はいずれも増加を予想しています。営業利益は1,600億円を予想しており、コア営業利益では除外される約2,500億円の費用を見込んでいます。主な調整項目として、無形資産償却費約1,400億円、加えて減損損失リスクや組織改編に伴う費用、為替差損などのその他の費用として約1,100億円を織り込んでいます。

(4) キャピタルアロケーションに関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値の持続的向上に努めるとともに、株主還元にも積極的に取り組んでいます。成長を実現するための事業投資を優先しながら、配当については、連結ベースでの中長期的な利益成長に基づき、安定的かつ持続的な向上に努めます。また、自己株式の取得を必要に応じて機動的に実施し、資本効率の改善と1株当たり利益の向上を図ります。

当期の年間配当金については、1株当たり74円（うち期末配当金として37円）としました。次期の年間配当金については、1株当たり78円（うち中間配当金として39円、期末配当金として39円）を予想しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目指し、2014年3月期決算から国際会計基準（IFRS）を適用しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上収益	1,603,672	1,912,323
売上原価	△292,485	△349,206
売上総利益	1,311,187	1,563,117
販売費及び一般管理費	△740,110	△843,032
研究開発費	△294,187	△327,651
無形資産償却費	△98,820	△136,762
無形資産譲渡益	9,735	1,049
持分法による投資損益	△3,165	△259
その他の収益	8,691	20,344
その他の費用	△167,814	△235,768
営業利益	25,518	41,039
金融収益	11,455	7,874
金融費用	△12,005	△17,677
税引前利益	24,969	31,237
法人所得税費用	△7,924	19,510
当期利益	17,045	50,747
当期利益の帰属		
親会社の所有者	17,045	50,747
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	9.51	28.35
希薄化後1株当たり当期利益(円)	9.47	28.24

(2) 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期利益	17,045	50,747
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△5,868	3,251
確定給付制度の再測定	5,965	4,607
小計	96	7,858
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	194,026	△9,716
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△7,682	—
ヘッジコスト	2,098	—
小計	188,442	△9,716
その他の包括利益	188,538	△1,858
当期包括利益合計	205,583	48,888
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	205,583	48,888

(3) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	293,742	328,921
のれん	418,694	415,207
無形資産	1,453,824	1,123,714
売上債権及びその他の債権	20,043	18,453
持分法で会計処理されている投資	15,684	18,989
繰延税金資産	45,594	98,113
その他の金融資産	108,694	106,195
その他の非流動資産	18,597	28,602
非流動資産合計	2,374,873	2,138,195
流動資産		
棚卸資産	248,738	297,261
売上債権及びその他の債権	534,985	632,525
未収法人所得税	13,051	13,691
その他の金融資産	28,784	29,941
その他の流動資産	32,241	39,197
現金及び現金同等物	335,687	188,372
小計	1,193,485	1,200,986
売却目的で保有する資産	1,245	363
流動資産合計	1,194,730	1,201,349
資産合計	3,569,603	3,339,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	184,070	185,259
自己株式	△33,783	△37,524
利益剰余金	809,400	740,939
その他の資本の構成要素	533,300	521,580
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,595,988	1,513,255
資本合計	1,595,988	1,513,255
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	447,738	564,893
仕入債務及びその他の債務	2,199	—
未払法人所得税	—	3,230
繰延税金負債	51,346	5,353
退職給付に係る負債	24,674	22,746
引当金	7,369	8,130
その他の金融負債	105,602	106,759
その他の非流動負債	48,962	53,569
非流動負債合計	687,889	764,679
流動負債		
社債及び借入金	472,278	266,533
仕入債務及びその他の債務	185,193	187,840
未払法人所得税	38,515	34,549
引当金	15,700	17,291
その他の金融負債	97,565	20,144
その他の流動負債	476,474	535,254
流動負債合計	1,285,725	1,061,610
負債合計	1,973,615	1,826,289
資本及び負債合計	3,569,603	3,339,544

(4) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2023年4月1日残高	103,001	181,280	△25,123	908,158	536	324,276
当期包括利益						
当期利益	—	—	—	17,045	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	194,026
当期包括利益合計	—	—	—	17,045	—	194,026
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△10,735	—	—	—
自己株式の処分	—	△1,452	2,075	△450	△161	—
配当金	—	—	—	△116,653	—	—
株式報酬取引	—	4,242	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	1,300	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	2,790	△8,660	△115,803	△161	—
2024年3月31日残高	103,001	184,070	△33,783	809,400	376	518,302
当期包括利益						
当期利益	—	—	—	50,747	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△9,716
当期包括利益合計	—	—	—	50,747	—	△9,716
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△6,960	—	—	—
自己株式の処分	—	△3,136	3,219	—	△78	—
配当金	—	—	—	△128,993	—	—
株式報酬取引	—	4,325	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	9,784	—	—
所有者との取引額合計	—	1,189	△3,740	△119,208	△78	—
2025年3月31日残高	103,001	185,259	△37,524	740,939	298	508,585

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	その他の資本の構成要素					合計	
	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ	ヘッジ コスト	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付 制度の 再測定	合計		
2023年 4 月 1 日残高	—	—	15, 827	—	340, 640	1, 507, 954	1, 507, 954
当期包括利益							
当期利益	—	—	—	—	—	17, 045	17, 045
その他の包括利益	△7, 682	2, 098	△5, 868	5, 965	188, 538	188, 538	188, 538
当期包括利益合計	△7, 682	2, 098	△5, 868	5, 965	188, 538	205, 583	205, 583
所有者との取引額							
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△10, 735	△10, 735
自己株式の処分	—	—	—	—	△161	12	12
配当金	—	—	—	—	—	△116, 653	△116, 653
株式報酬取引	—	—	—	—	—	4, 242	4, 242
利益剰余金への振替	—	—	4, 664	△5, 965	△1, 300	—	—
非金融資産への振替	7, 682	△2, 098	—	—	5, 584	5, 584	5, 584
所有者との取引額合計	7, 682	△2, 098	4, 664	△5, 965	4, 123	△117, 550	△117, 550
2024年 3 月31日残高	—	—	14, 623	—	533, 300	1, 595, 988	1, 595, 988
当期包括利益							
当期利益	—	—	—	—	—	50, 747	50, 747
その他の包括利益	—	—	3, 251	4, 607	△1, 858	△1, 858	△1, 858
当期包括利益合計	—	—	3, 251	4, 607	△1, 858	48, 888	48, 888
所有者との取引額							
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△6, 960	△6, 960
自己株式の処分	—	—	—	—	△78	6	6
配当金	—	—	—	—	—	△128, 993	△128, 993
株式報酬取引	—	—	—	—	—	4, 325	4, 325
利益剰余金への振替	—	—	△5, 177	△4, 607	△9, 784	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△5, 177	△4, 607	△9, 862	△131, 622	△131, 622
2025年 3 月31日残高	—	—	12, 697	—	521, 580	1, 513, 255	1, 513, 255

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	24,969	31,237
減価償却費及び無形資産償却費	157,840	199,132
減損損失（又は戻入れ）	78,931	187,564
金融収益及び金融費用	549	9,803
棚卸資産の増減額	△60,036	△50,225
売上債権及びその他の債権の増減額	△55,948	△104,735
仕入債務及びその他の債務の増減額	29,466	△11,409
その他	34,816	18,622
小計	210,587	279,989
法人所得税の支払額	△38,112	△85,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	172,475	194,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,056	△37,003
無形資産の取得による支出	△44,441	△20,327
無形資産の売却による収入	11,003	1,159
資本性金融商品の売却による収入	—	12,920
子会社の取得による支出	△784,974	—
利息及び配当金の受取額	8,850	7,101
その他	1,816	△53,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△845,802	△89,419
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額	324,337	△236,449
社債の発行及び長期借入れによる収入	472,275	200,000
社債の償還及び長期借入金の返済による支出	△25,379	△52,073
自己株式の取得による支出	△10,735	△6,960
親会社の所有者への配当金の支払額	△116,653	△128,993
リース負債の返済による支出	△13,246	△13,079
その他	△16,539	△23,814
財務活動によるキャッシュ・フロー	614,060	△261,367
現金及び現金同等物の為替変動による影響	18,113	8,960
現金及び現金同等物の増減額	△41,153	△147,315
現金及び現金同等物の期首残高	376,840	335,687
現金及び現金同等物の期末残高	335,687	188,372

(6) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(企業結合)

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

IVERIC bio, Inc. の取得

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	IVERIC bio, Inc. (以下「Iveric Bio社」)
事業の内容	医薬品の研究開発

② 取得日

米国東部時間 2023年7月11日

③ 取得した議決権付資本持分の割合

100%

④ 被取得企業の支配の獲得方法

現金を支払対価とする株式取得

⑤ 企業結合を行った主な理由

当社は、VISION「変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの『価値』に変える」の実現に向け、最先端の「価値」駆動型ライフサイエンス・イノベーターを目指しています。研究開発戦略であるFocus Areaアプローチとして、多面的な視点でバイオロジーとモダリティ／テクノロジーの独自の組み合わせを見出し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます。現在、「再生と視力の維持・回復」を含む5つのPrimary Focusを特定し、優先的に経営資源を投下しています。Iveric Bio社買収は、当社が掲げる重点領域における製品ポートフォリオ構築のための重要なステップとなります。

Iveric Bio社は、眼科領域において新規治療薬の研究開発に注力しています。地図状萎縮(Geographic Atrophy: GA)を伴う加齢黄斑変性(Age-related Macular Degeneration: AMD)の治療薬として開発中のIZERVAY(一般名: avacincaptad pegol、以下「ACP」)硝子体内注射液について、米国食品医薬品局(FDA)から2023年8月4日(現地時間)に承認を取得しました。

補体因子C5阻害剤であるACPは、GAを伴うAMDの治療薬候補であり、十分な治療を受けていない多くの患者さんに価値を提供できる可能性があります。ACPは、これまでに2つのピボタル試験(GATHER1, 2試験)において、主要評価項目(GAの進行抑制)を統計学的に有意に達成し、この適応症についてFDAからブレイクスルーセラピー指定(Breakthrough Therapy Designation)を受けています。

Iveric Bio社のリードプログラムであるACPを獲得することが、当社の経営計画2021で定める2025年度までの売上目標に貢献するだけでなく、ACPは、fezolinetantやPADCEVとともに収益を生み出す柱として、2020年代後半に控えるXTANDIの独占期間満了による売上減少を補うことが期待されています。

また、Iveric Bio社の買収により、当社は、コマーシャルチームや、専門家との広範なネットワーク、医療機関とのパートナーシップを含む、眼科領域における基盤ケイパビリティを獲得します。このようなケイパビリティ獲得を通じて、当社は、Primary Focus「再生と視力の維持・回復」における目標達成に向け、臨床開発・市場アクセスを加速させていきます。

(2) 取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 末の暫定的な公正価値	その後の修正	修正後の公正価値
無形資産（仕掛研究開発）	884,331	—	884,331
FVTOCIの金融資産（負債性）	9,986	—	9,986
現金及び現金同等物	44,649	—	44,649
その他の資産	2,607	—	2,607
繰延税金負債	△149,046	△4,252	△153,298
短期借入金	△15,079	—	△15,079
その他の負債	△7,984	—	△7,984
取得資産及び引受負債の 公正価値（純額）	769,464	△4,252	765,212
ベース・アジャストメント	△5,584	—	△5,584
のれん	35,236	8,374	43,610
合計	799,116	4,122	803,238
支払対価の公正価値の合計	799,116	4,122	803,238

前連結会計年度では一部の金額については暫定的な公正価値となっていました。当連結会計年度においては取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値の測定が完了しています。

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果及び超過収益力です。

(3) キャッシュ・フロー情報

	金額（単位：百万円）
支払対価の公正価値の合計	803,238
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△44,649
ベース・アジャストメント	5,584
子会社の取得による支出	764,173

上記のほか、Iveric Bio社の権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払33,434百万円を企業結合とは別個に認識し、連結純損益計算書の「その他の費用」に計上しています。

(4) 取得関連費用

3,614百万円

取得関連費用は、連結純損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれています。

(5) 連結純損益計算書に与える影響

- ① 前連結会計年度の連結純損益計算書で認識されている取得日以降の被取得企業の税引前利益（△は損失）

△107,506百万円

(注) 上記には、企業結合とは別個に認識されたIveric Bio社の権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払33,434百万円が含まれています。

- ② 企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の前連結会計年度の連結純損益計算書の税引前利益に与える影響額（△は損失）

△52,765百万円

(注) この影響額は、Iveric Bio社の2023年4月1日から取得日までの業績に基づいて算定しています。

(セグメント情報)

当社グループの主要な事業内容は医薬品の研究開発、製造及び販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは医薬品事業単一となっています。

製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの外部顧客への売上収益は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
XTANDI	750,466	912,288
プログラム	203,085	200,998
ベタニス／ミラベトリック／ベットミガ	198,066	170,039
その他	452,055	628,999
合計	1,603,672	1,912,323

地域に関する情報

売上収益及び非流動資産の地域別内訳は次のとおりです。

地域別売上収益

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
日本	286,218	280,106
米国	668,551	871,903
その他	648,903	760,314
合計	1,603,672	1,912,323

(注) 地域別売上収益は、当社グループ各社の所在地を基礎として分類しています。

地域別非流動資産(有形固定資産・のれん及び無形資産)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
日本	308,014	273,746
米国	1,734,228	1,447,056
その他	124,018	147,040
合計	2,166,260	1,867,842

主要な顧客に関する情報

連結純損益計算書の売上収益の10%以上を占める相手先は次のとおりです。

(単位：百万円)

	関連するセグメント名	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
McKesson Group	医薬品事業	243,433	291,485
Cencora Group	医薬品事業	175,018	271,974

(1株当たり当期利益)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	17,045	50,747
親会社の普通株主に帰属しない当期利益(百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	17,045	50,747
加重平均普通株式数(千株)	1,793,276	1,790,205
希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎		
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	17,045	50,747
当期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	17,045	50,747
加重平均普通株式数(千株)	1,793,276	1,790,205
希薄化性潜在的普通株式の影響(千株)	6,384	6,953
希薄化効果調整後加重平均普通株式数(千株)	1,799,660	1,797,159
1株当たり当期利益(親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益(円)	9.51	28.35
希薄化後1株当たり当期利益(円)	9.47	28.24

(重要な後発事象)

該当事項はありません。